

平成26年5月29日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	地域コミュニティ紙等発行事業
事業実施前の状況	伏尾台では、協議会の広報紙の発行に際し、紙面の作成、印刷、地域全戸配布作業の全てを、協議会メンバーのボランティアで実施してきた。費用は紙代等の実費のみであった。
事業実施後の状況	H25年度は、広報紙発行を外部委託するべく模索するが、自前で全ての工程を行う方が臨機応変に対応できるため、本年度も、協議会の活動を紹介する「協議会活動案内書」、通常の広報紙、「第10号」、伏尾台地域活性化事業で行う年3回の「山びこフェスタ開催案内」のポスター、回覧チラシの全5回の広報活動を協議会メンバーのボランティアで実施した。
事業の効果	「協議会活動案内書」は、年度替わりで入れかわる自治会役員、班長等への協議会活動の周知に極めて有効であった。 「協議会活動案内書」と広報紙「第10号」は、全戸配布されたため、協議会入会、アンケート回収や安全パトロール隊員の応募などに極めて有効であった。 「山びこフェスタ開催案内」のポスター、回覧チラシにより、イベントが有意義に実施された。
今後の課題等	広報活動の効果は十分にあり、協議会メンバーのボランティアで実施したため、予算の大半は不用で市へ返却できたが、協議会メンバーへの負担は極めて大きかった。次年度は、広報紙発行を主に外部委託することを実施したい。

平成26年5月29日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	伏尾台ホームページ開設事業
事業実施前の状況	協議会事務所を開設するも、老朽化建物で雨漏りや結露が著しく、書類等の保管ができず、いわゆる事務所としての機能が発揮できなかった。また、協議会活動の広報の一環としてホームページの開設を望むが、事務所へ光ケーブルの敷設とインターネットの開設並びに専用PCの導入保管することができなかった。
事業実施後の状況	<p>本年度の協議会事務所運営事業にて、7月に屋根修復工事並びに光回線の敷設が完了して、事務所としてようやく機能し始めたので、本ホームページ開設事業にて、専用のPCと今後の事務処理のための MS Officeソフトを購入できた。</p> <p>本年度後半より、ホームページ開設に向けて、これまでの協議会活動に関する文書や写真等のデータの収集、整理を始めることができた。</p> <p>協議会専用のインターネットの開設並びにH.P.アドレスの取得はこれを完了した。アンケート調査可能なH.P.とすべくフォーマットを調査開始した。</p>
事業の効果	本事業の目的である、PCを導入し、ホームページ開設に向けて文書や写真等のデータの収集、整理、協議会専用のインターネットの開設並びにH.P.アドレスの取得、アンケート調査可能なH.P.のフォーマット調査は、全て完了した。
今後の課題等	ブログまたはアンケート調査可能なH.P.のフォーマットに関する調査等が完了次第、H.P.をアップロードし、随時更新する予定である。この作業はあくまで協議会メンバーがボランティアで行う予定である。

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	伏尾台第1コミュニティセンター設備改修事業
事業実施前の状況	<p>伏尾台第1コミュニティセンターの一階和室では、障子が設置されているが、障子紙がよく破れていて、補修されることもなく美観を損ねていた。一階文庫室では、カーテンが日照で劣化して破れており、機能しない状況であった。</p> <p>同一階小会議室では、エアコンの水漏れ、かびの発生があり、補修を行うも、完治しない状況であった。</p> <p>同一階トイレでは、以前のバリアフリーの改修がなされて利便性が向上したが、幼児連れの親が子供と一緒に使用するためのベビーチェアがないと指摘されていた。</p>
事業実施後の状況	<p>和室では、障子を撤去(2階機械室へ保管)して、カーテンレールと防災カーテンを設置し、文庫室も防災カーテンを更新した。</p> <p>小会議室では、エアコンの入替が実施された。</p> <p>1階のバリアフリートイレでは、壁にベビーチェアが設置された。</p>
事業の効果	<p>和室の障子撤去とカーテン設置は、時間帯と天候に応じて日照を調節できると好評である。文庫室では、カーテンの更新により、美観並びに機能が向上した。</p> <p>小会議室では、子育て支援グループより、幼児たちへの健康不安なく室内が利用できると評価された。</p> <p>1階のバリアフリートイレでは、幼児連れの親子が安全に利用できると評価された。</p>
今後の課題等	<p>伏尾台第1コミュニティセンターの2階トイレは、男女兼用のレイアウトであるが、男子小用便器が便座個室の直前に配置されており、男子小用便器の使用時には、女性が使用し辛く、女性はほとんど1階トイレを使用する不便があった。改修が望まれる。</p>

平成26年5月29日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊



事業の評価書

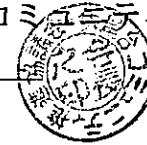
下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	実施前は小学校の登校時に、主に民生委員等による見守りがあった。平成20年9月より実施し、当初小学校の登校日を中心に、H20年は、1回1時間、1日6回のパトロールからスタートし、H21年は、1日4回に組み直して実施した。H24年は、小学校の曜日毎、学年毎の下校時刻に応じてスケジュールの見直しを行った。
事業実施後の状況	H25年度は、登校予定日、小学校の曜日ごと、学年ごとの下校時刻の違いに応じて、より細かくパトロールスケジュールの見直しを行い、1回1時間、1日2~3回のパトロールを実施した。
事業の効果	朝のパトロールは走行よりも主に定点立ちとし、小学生にあいさつの声掛けを積極的に行い、中高生、出勤の人まであいさつを交わすことができた。さらにこのあいさつが大人同士にも浸透して、近隣の目が空き巣等の防止に繋がり、昼間と夜間のパトロールと相まって、防犯カメラ事業との相乗効果も有り、ここ5年連続して空き巣犯罪"0"を更新できている。
今後の課題等	毎年10名前後の隊員の入れ替わりがあるが、乗務希望の曜日と時間が重複することが多く、さらに夕刻以降の乗務希望者が減少して、運行スケジュール立てが事務担当者の大きな負担である。2年毎の実施者証の更新講習会の開催手配と、新入隊員への受講手配、保険加入申込み等が増加し事務担当者の負担が増大した。これら事務処理を有償化できないであろうか。H27年度から小中一貫校への移管に伴い、パトロール方法を変更する必要があり、ルートなど検討しなければならない。

平成26年5月29日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	防犯カメラ管理事業
事業実施前の状況	<p>H22年度に伏尾台への出入口道路である国道側と川西側の2か所に通過車両を撮影できる防犯カメラを設置した。H24年度に第2コミセン南側と細河中学校の南側交差点に同様に防犯カメラを設置した。地域周回道路の東西南北の4か所8台のカメラは、地域に出入りする車両をもれなく撮影し得る状況となった。</p> <p>しかし、北高校の周回路の北側は不法投棄や放火が発生していた。また、その周回路の南東交差点は、園児、小学生、高校生が登校や下校時に横断するが、見守りが不十分であった。</p>
事業実施後の状況	<p>H25年度、北高校の周回路北側の中央付近から西方向に向けて1台の防犯カメラ(A)を設置して、不法投棄や放火を行う不審者を撮影可能にし、同周回路の南東のT字交差点に東西方向に向けて2台の防犯カメラ(B)を設置し、横断者と通行車両を撮影可能にした。また、既設カメラとレコーダーはメンテナンスされた。</p>
事業の効果	<p>警察の捜査にも協力でき、同時実施の安全パトロール事業での青パトロール車の巡回、地域内の防災防犯委員会並びに自治会の防犯活動と相まって、5年連続して空き巣事件"0"を更新した。</p> <p>認知症の方が行方不明になったが、川西側へ出ていったことが記録で確認でき、旧街道脇に転落されているのを発見できた。</p>
今後の課題等	<p>H25年度は捜査の記録開示の要請が6件あり、市危機管理課と協議会の立会いのもと開示した。現場での立会い者は日時や天候にかかわらずに長時間を強いられ負担が大きく、SD式で記録媒体を取出し、屋内でPCにて記録開示可能にしたい。また認知症の方の救出事例より、夜間撮影が強化されたカメラの設置が切望される。</p>

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	防犯防災啓発事業
事業実施前の状況	<p>防災・防犯委員会は、自治会連合会より配分される50円×1300戸の予算で運営され、毎年の戸数減で運営費が厳しい状況にある。毎年12月の総合防災訓練での費用も参加人数が300名を超えるため嵩むが、自治会からの配分予算では厳しい状況である。</p> <p>また、自治会連合会主催の夏祭りでは、会場周辺の交通整理と警備を請け負い、毎回70人過の委員が時間差で参加するが、より安全に歩行者を誘導できるように、通行止め区間における照明と事務連絡等が確保されることが望ましい。</p>
事業実施後の状況	<p>ガスボンベによる発電機2台を導入でき、夏祭りに際して、無街灯の4か所で投光器を点灯できた。導入した無線機2機を使用しパトロール隊員間の事務連絡が円滑になった。</p> <p>12月1日(日)の総合防災訓練で、体育館床に敷くシートを購入、備蓄資機材のメンテナンスを行い、救命講習、避難誘導、炊き出し訓練など7項目の訓練を行った。</p>
事業の効果	<p>自治会主催の夏祭りでの通行止め区間の4箇所での夜間照明を確保でき、無線連絡と相まって安全に交通整理が実施できた。</p> <p>人と防災未来センター並びに神戸市防災施設の見学会が実施でき、参加者全員に感想文を書いてもらい防災意識が高まった</p> <p>総合防災訓練での必要経費を補助金で賄うことができ、350名を超える住民に7項目の訓練を受けてもらうことができた。</p>
今後の課題等	<p>夏祭りでの通行止め区間では、身体不自由者らの駐車場入口となる小学校裏門、北高等学校門においても無線機の使用が望ましい。</p> <p>総合防災訓練時の引率リーダーの養成のための教育カリキュラムとして、備蓄資機材の使用訓練、見学会を開催したいとの要望があった。</p>

平成26年5月29日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	地域行事等活動促進事業
事業実施前の状況	自治会連合会が主催する夏祭りは、各丁目の自治会の会員数に応じた分担金で運営されるが、会員数の減少化が進む自治会が増える中、総額を抑えても予算配分に苦慮している状況にあった。夏祭りの一環として子供会が行う御神輿巡行の費用を自治会連合会が負担し、同様にこの予算化についても困難になっきている。
事業実施後の状況	自治会連合会は、盆踊りを行うための予算を、本補助金で充填することができ、又、子供会では本補助金で本御輿、子供たる御輿巡行を行うことができ、その結果、自治会連合会では御輿巡行の負担金もなくなり、予算を圧迫することなく、例年どおりの夏祭りを開催することができた。
事業の効果	地域住民の高齢化と小子化が進む中でも、祭りの時だけは、伏尾台にも多くの子供が住んでいるなど感じられ、地域へ帰省中の若い親子連れも目立ち、毎年入れ替わり初めての開催経験となる実行委員会のメンバーは、開催して本当によかったと、盛況な夏祭りとなった。
今後の課題等	子供会の入会には家庭が自治会員であることが求められ、年々入会する子供が減少し、子供会・自治会両者が減少の悪循環となっている。自治会連合会では、毎年入れ替わる班長、役員で実行委員会を組織して夏祭りを開催し、これが相応の負担で、自治会脱会の主因となっているので、開催経験のある固定的な人員で構成される実行委員会が組織されることを希望する声が多い。 重量の嵩む本御輿の担ぎ手である大人の確保に困る状況であり、たる御輿に替えて軽量な本御輿風の子供御輿があれば、見守りの大人が少なくとも、子供たちに本御輿を巡行させた思い出を持ってもらえるとの声が多かった。

平成26年5月29日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	伏尾台地域活性化事業
事業実施前の状況	伏尾台センターは、バス停ロータリーがあり、マンションとその1階に商店街、夢の広場と称されるマンションに挟まれる公園、そして第1コミセンが隣接されており、地域の最盛期には大変なにぎわいがあった。現在では、閉じられた商店のシャッターが散見される寂しい所となった。
事業実施後の状況	伏尾台センターにかつてのにぎわいと、住民が楽しめるコンサートとして3回の「ふしおだい山びこフェスタ」を夢の広場公園、第1コミセン大集会室で開催した。 5月18日「フリーマーケットとジャズコンサート」 11月9日「ボーカルコンサート」 3月1日「落語の会」
事業の効果	開催結果を参加人数(0.5時間毎の最大ピーク人数、述べ人数でない)で評価する。夢の広場に立ち寄り20~30分聞いている方、最初から最後まで聞いている方等多くの人に楽しまれている。 5月18日 「ジャズコンサート」1.5時間 70~120人 11月9日 「ボーカルコンサート」1.5時間 60~110人 3月9日 室内で開催「落語の会」100人(満席)
今後の課題等	毎回参加者にアンケート調査を、年齢、参加動機、参加回数、意見要望を記入する方式で行った。その結果、参加者は異口同音に伏尾台で音楽や落語が楽しめて良かったと言い、今後も継続要望が多かった。また、5月と11月はリピーターが多く定着感がある。一方、ボランティアスタッフを集めるが少なく、今後開催の内容、方法を吟味検討しなければならない。

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	子育て支援環境整備
事業実施前の状況	平成22年度に伏尾台第1コミュニティセンター内の一室を使用し、幼児向けの備品を整備し、乳幼児を育てる母親に気軽に集まれる場所として提供し、これを運営する子育て支援グループを立ち上げた。その後も毎週、部屋が開設される日時を決めて、無料登録制で参加者を募集する方法で運営している。
事業実施後の状況	幼稚園入園前 34組,幼稚園・小学生 26組,ボランティア 12名登録。幼児向け備品に加え、体重計や遊具などの乳児用備品を整備し、手ふき等の消耗品も整備し、気楽に集い親子共に遊び解放感を持てる部屋を、週2回開催し維持できた。年間利用数70組。七夕、クリスマスの年2回、全会員宅を手作りプレゼントを持ち訪問して悩みなどの聞き取りをし、支援方法を模索している。会の卒業会員向けに「親子で遊ぶ会」を8月と3月の年2回開催、総29組が参加。母親向けに5月懇親会、12月講演会「地震から子供を守る」を開催。
事業の効果	「ほっとルームフレンズ」で親交を深めた親子同士がお互いの家や公園に集い、グループで遠出できるようになり、子供と純粋に向き合い遊ぶ時間が持てる人間関係が築けるようになるなどの、初期目的である、密室育児で子育てストレスを溜めてしまうことを防止できる環境を整備維持できている。
今後の課題等	新たな未就園児の親子への広報活動並びに新規登録等の事務処理、さらに就園児となった親子らとの交流、相談で訪れる母親への支援等を考えると、支援者の当番制を確立する制度が必要であると共に、支援者が常駐できる常設の子育て支援の専用の部屋が、第1または第2コミセンに必要である。

平成26年5月29日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	AED管理事業
事業実施前の状況	5年前に阪急バス車庫事務所、伏尾台センターコープ店舗内に設置した。これまで使用されたことがないが、緊急時に備えてメンテナンスが必要である。
事業実施後の状況	阪急バス車庫事務所に設置したAEDで、使用期限が迫ったパッドを交換し、使用可能な状態を維持した。 伏尾台センターコープ店舗内に設置したAEDで、使用期限が迫ったパッドを交換し、使用可能な状態を維持した。
事業の効果	午前10時から午後10時まで開店しているコープ店舗内と、24時間常駐されている阪急バス車庫の事務所内に、AEDが使用可能な状態で常備されることになった。
今後の課題等	地域住民へのAED設置場所の周知徹底を図ること。 毎年12月に、総合防災訓練で使用体験を実施し、防災防犯委員会の役員で使用訓練を実施しているが、さらに住民向けの使用訓練の機会を設けること。 定期的に設置状態の確認を行うこと。

平成26年5月29日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	協議会事務所運営事業
事業実施前の状況	<p>コミュニティ推進協議会の活動拠点として事務所設置を行った。伏尾台周回道路沿いで西公園南側と目立つ場所に看板と掲示板を設置して広報を行い、これを維持している。</p> <p>建築後30年以上経過した簡易型の建物であり、雨漏りや結露が著しく、書類の保管ができず、所謂事務所としての機能を発揮させることができず、晴天時に会議開催程度の活用しかできない。</p>
事業実施後の状況	<p>現状の屋根上を被覆する簡易屋根を設けて雨漏りを防いだことにより、光ケーブルを引きコピー・ファックス複合機を導入でき、印刷用紙や書類を保管可能になり、協議会の役員会議を定期的開催している。また、地域の「防災・防犯委員会」の活動拠点として、会議の他、年末の防犯防火の巡回拠点として活用してもらっている。さらに、地域内に季節毎の花を植える活動を行う社協の「花の会」の活動拠点として利用してもらっている。</p>
事業の効果	<p>伏尾台地域に入ってすぐの目立つ立地条件のもと、webでのグーグル地図にも「伏尾台コミュニティ推進協議会」と表示され、そのストリートビューには黄色い看板が目立っている。コミュニティ推進協議会はもとより、防災・防犯委員会並びに社協の花の会の活動拠点として、それぞれ活用されている。</p>
今後の課題等	<p>屋根の改修により、事務所機能が復活し、利用回数が増大した結果、元来老朽化した床の損傷が進行しており、踏み抜けるのも時間の問題となってきた。自治会連合会も事務所がなく、共同利用を望まれるが、専用ロッカーの設置箇所もなく狭く、協議会と自治会連合会の連携強化のためにも新たな拠点が望まれる。</p>

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	公園整備事業
事業実施前の状況	<p>伏尾台の中央公園は、協議会からの高齢者用運動具並びに幼児用の遊具の整備要望の通りにリニューアル工事が実施され、アンケート調査の結果、幼児と高齢者の利用が増加している。</p> <p>利用者増加を踏まえ、協議会では、子供や親たちの意見を聞いて、子育て支援の視線で公園整備を検討した。</p> <p>その結果、古い第1公園では水が扱えない、1丁目第2公園では幼児遊具が不足すること、5丁目公園ではボールがバス通りに飛び出すことが判明した。</p>
事業実施後の状況	<p>伏尾台第1公園には、水飲み・手洗い設備が設置され、伏尾台1丁目第2公園には、幼児用スプリング遊具が設置され、伏尾台5丁目公園には、捕球ネットが設置された。</p>
事業の効果	<p>伏尾台第1公園では、水飲み・手洗い設備が設置されたことにより、特に幼児との親子連れに利便性が向上したと好評である。</p> <p>伏尾台1丁目第2公園では、幼児用スプリング遊具が設置されたことにより、子供たちの利用が増加した。</p> <p>伏尾台5丁目公園では、ボールを追いかけて道路に出る子供がいることから伏小PTAが危険箇所の一つに指定していたが、捕球ネットが設置されて、その心配が大いに減少した。</p>
今後の課題等	<p>協議会の子育て支援事業の担当者グループが、子供や親たちの意見を聞いて、子育て支援の視線で必要か不用か、便利か不便かを検討し提案する公園整備事業であるが、伏尾台には大小21か所の公園があり、要望が多岐に亘るため、各整備要件に必要性和妥当性から優先順位を付けることに苦労している。</p>

平成26年5月29日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊一



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	コミュニティ道路整備事業
事業実施前の状況	<p>細河中学校運動場東側は久安寺の里山に隣接しており、山中にある炭焼き小屋跡まで散策できるように、伏尾台の造成時中学校運動場東脇に(1)「階段道とこれに続く平坦道」約200mが造られた。炭焼き小屋跡からは(2)「急なつづら折れ道」約200mと(3)「崖沿いの直線道」約200mを通ると、久安寺山門脇に出る山道がある。(3)「崖沿いの直線道」が道幅が狭く危険で早急に整備が必要であり、伏尾台から久安寺及びグランドゴルフコートへこの散策道で往来し易いように、協同で整備することになり、H23,24年度は(3)「崖沿いの直線道」で拡幅修正及び木質舗装工事が完了した。</p>
事業実施後の状況	<p>(3)「崖沿いの直線道」は、最も危険な絶壁部分(約20m)が市による土留擁壁工事にて拡幅されたが、落下防止のためにH25年度に手すり兼用フェンスを土留擁壁部に立設した。</p> <p>(2)「急なつづら折れ道」に、今後木質舗装工事を施す下準備として、踏面確保の土留補修工事を行った。</p> <p>細河の協議会と伏尾台の協議会が10月～3月まで月交代で、落ち葉の除去清掃を行った。</p>
事業の効果	<p>(3)「崖沿いの直線道」は、傾斜緩やかだが道幅狭く極めて危険であったが、拡幅整備、フェンス設置後は親子連れで子供でも安心して歩ける道になった。</p> <p>(2)「急なつづら折れ道」に、踏面確保の土留補修工事を行ったことで極めて歩きやすくなった。</p>
今後の課題等	<p>今後、(2)「急なつづら折れ道」に木質簡易舗装工事を施すことにより、雨天時も歩くことが容易になり、さらに要所に街路灯を設置することによりより安全に散策可能になると考えられる。</p>

平成26年5月29日

池田市長 様

住 所 池田市伏尾台5丁目2-3
 協議会名 伏尾台コミュニティ推進協議会
 会長名 春山俊



事業の評価書

下記のとおり実施事業の評価を報告します。

事業名	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	<p>伏尾台校区住民がスポーツに親しみ気軽に参加できる機会を設け、幼児から高齢者まで楽しみ交流を深めて地域の活性化を図る目的で、伏尾台校区市民レクリエーション大会実行委員会を組織し、自治会連合会の協賛のもと、伏尾台大運動会を行ってきた。各自治会の組織率の低下にともない、自治会からの参加者並びに協賛金も大きく低下している。</p>
事業実施後の状況	<p>自治会協賛金の低下を補う形の補助金として、必要な運営費用を賄うことが可能になり、参加者の高齢化と運動量の減量化を求める意見を考慮して、プログラムを一部変更した結果、多くの住民が参加して大いに楽しめるスポーツ大会を開催できた。</p>
事業の効果	<p>実行委員会並びに自治会連合会の役員、スタッフともに運営が積極的に行われ、又、各自治会の参加者募集の努力の結果、例年同様に参加者があり、盛況な運動会であった。</p>
今後の課題等	<p>自治会連合会から実行委員会へは、盛況な運動会が開催できたことを喜ぶが、他方、参加者の高齢化並びに運動量の減量化を求める意見が出され、現在の丁目毎のチーム編成やプログラムの大幅な見直しの申入れがあった。</p> <p>幼児から高齢者までスポーツを楽しみ交流を深めて地域の活性化を図る初期目的に立ち返り、参加人数を考慮した紅白対抗形式など、従前とは異なる別形態の運動会を模索していく必要がある。</p>